

令和4年11月2日（水）に、9月定例会の予算決算常任委員会総務分科会において質問があったプロポーザル契約について、委員会から提出を要求していた資料を中心に審議を行いました。質問と答弁の主な内容を紹介します。

質疑

問 P社については、兵庫県や他の自治体で指名停止している。加西市の指名停止基準の「近畿外の一般工事等に関し、競売入札妨害又は談合の容疑により逮捕、書類送検又は起訴されたとき」の項目に該当するのではないのか。

答 今回の件はその基準に該当しますが、市の指名停止の取扱いは、市内業者の事件事故、加西市と契約関係にある業者の事件事故を指名停止しています。P社は加西市と契約関係になかったため指名停止は必要ないと判断しました。

問 本来、指名停止基準に従って、P社を指名停止すべきだったのでは。

答（副市長）これは運用の範囲であり違法ではありません。しかし、周辺自治体の指名停止を確認すると、指名停止するほうが妥当だったと思います。結果として不適切な部分があり、反省点もあります。

問 令和4年2月24日、P社社員が官製談合の疑いで社員が逮捕されたことを報告する文書を持参している。これだけ重大な文書を課長で止めておくものなのか。上司に報告すべきではないのか。

答 加西市と契約があれば部長等に文書を回しますが、契約がなかったため指名停止する必要がないとの判断をしました。

問 令和4年10月から指名停止の業者を市ホームページで公表しているが、それは指名停止基準に従って指名停止しているのか。

答 今回の件を受けて、指名停止の運用を見直したものです。

問 過去に指名停止にすべき業者が参加していたケースがあるのではないのか。遡って調査を。

答（市長）チェックさせます。

市政を問う!

一般質問

12月8日、9日の本会議では、11名の議員が市政全般に関する一般質問を行いました。質問と答弁の主な内容を紹介します。（発言順に掲載）
※ QRコードを読み取ると、録画映像をご覧いただくことができます。

加西市消防団及び防災について



中右 憲利 議員
（令和新風加西）



問 コロナ前まで長年続けてきた消防団の操法・礼式大会の廃止について。

答 消防団の活動内容の改善に向けたアンケートでは、操法・礼式大会が負担との回答が80%を超え、消火技術やポンプ操作の知識不足が28%、団員が集まらず現場活動ができないとの回答が43%でした。この結果を受けて3回の分団長会議で慎重に協議し、操法・礼式大会を廃止することを全員一致で決定しました。

問 操法・礼式大会に代わる実践的な訓練について。

答 4月の第2日曜に新入団員訓練、機関員訓練、水防訓練、部長訓練を約2時間かけて一緒に実施していましたが、今後は4月から6月にかけて個別に実施し、座学で基本を学んだ上で実技に十分時間を取ることにしています。

問 市主催の総合防災訓練の必要性について。

答 これまで小学校区単位の炊き出し訓練等を毎年1校区ずつ実施し、一巡した後に図上訓練も同様に実施しています。

令和4年9月に実施された兵庫県・播磨広域合同防災訓練では、行政・警察・自衛隊がそれぞれの特徴を生かした訓練が行われていました。加西市も総合防災訓練の必要性は認識しており、今後防災関連機関と協議し、できるだけ早期に取り組みたいと考えます。

問 災害ボランティア団体、市内在住の防災士等がネットワークを構築し、市と協働して防災環境を整えていくことについて。

答 NPO法人災害ボランティア加西らかんに協力を依頼し、準備段階から当日まで密に連絡を取りながら、災害ボランティアセンター開所訓練を実施したことがあります。その中で連携の必要性を実感し、今後、連携強化を図りたいと考えています。また、兵庫県防災士会では学生部会を立ち上げ、幅広い年代に対応できるよう組織化を検討されており、加西市としても防災の新たな人脈づくりを進めたいと考えます。

■その他の質問項目

- ・道の駅について
- ・ふるさと創造会議について
- ・未来型児童館について